



# Via Latina 22

2019年10月 283号

## 総本部よりのお知らせ－マリア会

### コートジボワールとコンゴ－での初誓願式



左より：Anselme Miessan, SM; Gérard Konan, SM;  
Prince Loute, SM とSerge Mungesungu, SM

2年間の修練期を終え、私たちの兄弟4名：コートジボワール従属地区のAnselme Miessan士、Gérard Konan士と コンゴ－特別地区のPrince Loute士、 Serge Mungesungu士が初誓願を宣立しました。

神様と、彼らをご自分の奉仕のために選ばれたマリア様に感謝しましょう。これに加えて、マリア様は彼らを神の民と仲間である兄弟たちへの奉仕に就かせようと望まれました。誓願式は2019年6月29日土曜日、「柱の聖母」マリア会修練院にて執り行われました。この日はまた教会の偉大な柱である、聖ペトロと聖パウロの祝日でもありました。

彼らが、教会の柱であるこの二人のようになり、また神様の御心に適う修道者となるよう、神に祈りましょう。汚れなきおとめマリアによって、父と子と聖霊が称えられますように！アーメン。

## 東アフリカ地区での初誓願式



左より：Jude Rapando, SM; Robert Manda, SM;  
Desire Mpoya, SM; Peter Kapalu, SM; Jackson Sampa, SM;  
Julius Kitaka, SM と Kelvin Maona, SM

東アフリカ地区は2019年8月17日土曜日、喜びの初誓願式を祝いました。次の7名がケニア リムルの修練院聖堂にてマリア会の初誓願を宣立しました：Peter Kanguya Kapalu士、Jackson Nkole Sampa士（ザンビア）、Robert Manda士、Kelvin Maona士、Desire Mpoya士（マラウイ）、Julius Mwatu Kitaka士とJude-Thaddeus Rapando士（ケニア）。

地区長、Gabriel Kirangah師が司式し、霊生部長Bernard Lugutu師が共同司式をしました。Gabriel師が説教を行い、誓願を受け入れました。

Jude-Thaddeus士とJulius士の両親が式に出席することができ、他の全ての両親を代表しました。Julius士の父親、Paul Kitaka Muvya氏が両親たちを代表して挨拶し、Robert Manda士が初誓願者全員を代表して感謝の言葉を述べました。ロレット・シスターズの修練者と聖ヨゼフの小さなシスターズの修練者たちが美しい聖歌で聖歌隊を務めました。ケニアのMLCメンバー、また、初誓願者たちがその修練期間中に活躍した使徒事業の代表者、そしてもちろん、他の友人たちも参加しました。昼食、ケーキカットと続いたこの式典は、参加者全員にとって素晴らしい機会となりました。

---

## ブラジルでの初誓願式

ブラジルの独立記念日である9月7日、マリリアにて私たちはブラジルマリア会の修道者としてのGustavo Pollon士の初誓願を祝いました。Gustavoはかれの養成期をマリリアとバウルにて過ごしました。そして彼のサラゴサでの修練期は、Lorenzo Amigo師の霊的、人間的な知恵に導かれて行われました。



スペイン管区を代表してGustavo Pollon, SM  
の初誓願を受け入れるIñaki Sarasua師

ブラジルの全マリアニスト家族は喜びと信仰を持ってこの式に参列し、Gustavoと喜びをともにし、またそのマリアニストとしての奉献を更新しました。スペインの新しい管区長に任命されているIñaki Sarasua師が初誓願を受け入れました。この誓願式は簡素なものでしたが、大変鼓舞され喜びに満ちたものだったと参列者は述べています。この素晴らしい1日は兄弟的会食をもって終了しました。この会食には、来客としてGustavoの家族とMLCとFMIのメンバーが含まれていました。

---

## Peter Heiskell師、ニューヨークで司祭に叙階される



Christopher Cardone 司教 (OP) に叙階されたPeter Heiskell, SM

2019年8月17日、メリバ管区（ニューヨーク、ロングアイランド）のマリア会修道者たちに大勢の生徒、彼らの家族そして信徒協力者たちが加わり、Bro. Peter H. Heiskell のマリア会司祭として叙

階式に立ち会いました。叙階式はミネオラのシャミナード高校にてホニアラのChristopher Cardone 大司教（ソロモン諸島）の司式で執り行われました。Peter神父は最近ローマのシャミナード国際神学校で3年間の勉強を終えたばかりでした。かれは今、彼が25年以上教師であったシャミナード高校での職務に戻ってきます。そこでかれは学校付の司祭として務めます。

この素晴らしい式典には、3名の司教たち、メリバ管区のブラザーと司祭たち、アメリカ管区からの出席者、またPeter神父の神学部学友、シャミナード高校の卒業生仲間、そして彼が神学生時代に仕事をしたローマのSant'Egidio共同体からの代表者も集まりました。もちろん、Peterの母親と家族も式典に出席しましたが、カリフォルニアからは既婚者で最近永久助祭に叙階された兄弟も列席して、式典の中で奉仕しました。この学校の一つの合唱隊が典礼の間聖歌を担当しました。

叙階ミサに続いて1000名に近い列席者のため学校でお祝いの会が開かれました。

---

## 日本地区に新地区長が任命される

洗礼者ヨハネ青木勲神父は日本地区の地区長としての三期目の任務を終わろうとしています。総長評議員会は、日本地区の修道者たちの意見を聴取した後、ヨゼフ市瀬幸一師に日本地区の地区長として奉仕するようとの要請を受諾するよう求めました。私たちは、この奉仕に寛大なところで一身を委ねるために、市瀬師が謙虚な精神で進んでこの要請を引き受けてくださったことに感謝します。



市瀬師はこの数年間、札幌の光星高校の校長であり、更に教育に係る他の任務で札幌教区と協働してきました。市瀬師は1978年初誓願を宣立し、1987年に司祭に叙階されました。私たちは祈りと兄弟的支援を市瀬師に約束します。



同時に、私たちは青木師に対して長年ブラジルで奉仕された後、地区長として果たしてこられた多大な奉仕に対して、祝意を述べ感謝します。彼はその評議員会と共に賢明さを持って地区を導くよう努めて来られました。総本部は彼が果たしてきた奉仕の期間に心から感謝を表明します。

現在の地区本部から新しい地区本部への交代は、2020年4月1日に行われます。日本地区の全修道者たちとともに、新しい地区本部のメンバーを祈りの中で心に留めましょう。

## ラテンアメリカの終生誓願者の集会（リマ、2019年7月7－13日）



2015年の総指導者会議で発議、および昨年総会での勧告の精神に沿って、ラテンアメリカ4つの地区（アルゼンチン、チリ、コロンビア・エクアドル、ペルー）は4つの行政単位がより緊密になるよう努力しています。

このプロセスでの重要な活動の一つがこれら4地区の現役の終生誓願者の集まりでした。この集まりには、スペイン管区に属するブラジル特別地区とキューバ創設体の会員、およびUSA管区に属すメキシコの共同体も参加しました。会議はペルーのリマで開催され、31名の修道者と総長評議員会メンバー4名が集まりました。

この集会は、この大陸におけるマリアニストの生活と宣教活動の現状、ならびに現在の課題に一番よく取り組む方法に関して、兄弟的な分かち合いと対話をする機会でした。この集会の考察は、特にマリアニスト家族との協働、召命、修道生活、そして教育の分野で、総会の決議を実行に移すことに焦点を当てました。行政単位間の絆を強める必要性は明らかであり、各行政単位はお互いの支えを必要としていますし、またこの相互協力に独自の貢献をすることが出来ます。この非常に兄弟的な機会は、会員たちを緊密に結びつけ、ラテンアメリカにあるマリアニスト全体の一致に向けた成長を促す重要な機会でした。

---

## CLAMARの教育関係者会議（リマ、2019年7月4－6日）

上に述べたラテンアメリカの終生誓願者たちの集会に先立ち、7月4日から6日にかけて、4つのラテンアメリカ地区の教育部長、教育に携る修道者、および信徒たちが、メキシコとキューバからの代表と一緒に会議を行いました。CLAMARの教育関係者会議（CLAMARED）は数年前から既に存在し、南米大陸の17の学校に関する行政単位間の協力を強化するよう努めています。この会議の間に新たな規約が提示され、幾つかの共同プロジェクトが討議されました。



---

## 総長、Luis Casala師をCLAMAR議長に任命



ラテンアメリカ行政単位の再編は必要であり、そしてこの再編はこれらの各々の国におけるマリアニスト生活と宣教活動のための新たな機会を開拓することが出来ます。4つの地区の地区長が2019年7月4日～6日にリマに集まったのはこのためです。この会議で、彼らはそれぞれの行政単位のため4つの共同プロジェクトを採用しました：すなわち、チリのサンチャゴに設けることになる修練院、初期養成、学校間ネットワーク（CLAMARED）、そしてマリアニスト養成センター（Celafoam）の4つです。2015年の総指導者会議からだされた文書で明らかのように、これらプロジェクトは、共同でなされるので、ゾーン議長の全面的な権限下にあります。

ゾーン議長は、ある特定の目的のために任命された上級長上が権限を行使するように、これらのプロジェクトに取り組みます。この議長に全権を与えるために、総長はゾーンに属する行政単位の責任者の要望を聞き、総長評議員会の同意を得てこの議長を任命します。

アルゼンチン地区のLuis Casala師はこれまでもラテンアメリカゾーン（CLAMAR）の議長に任命され経験があります。今回の任命は3年間の任期で、2019年12月12日に始まります。彼は上に述べた4つのプロジェクトの責任者であり、また再編に関する行政単位の継続した考察においても手助けすることになります。私たちはCasala師がこの新たな責任を快く引き受けてくださったことに感謝します。

ラテンアメリカは、ヨーロッパに次いで、2015年に総指導者会議で記述されたような共同プロジェクトに基づいて再編の道を採用した2番目のゾーンです。

## アタコラ（Atacora）の聖母巡礼所での世界マリアニスト祈りの日

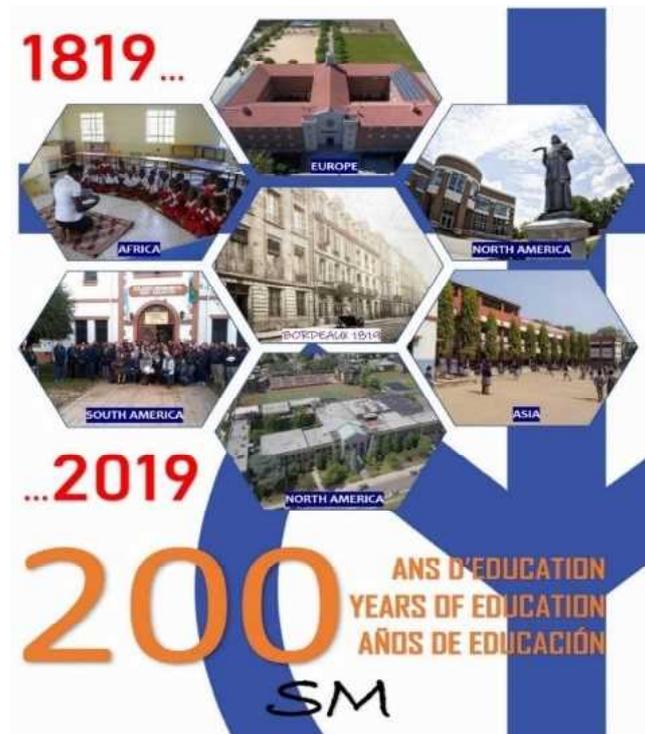


今年、世界マリアニスト祈りの日のため、私たちは西アフリカ、ベナン北部のアタコラの聖母マリア巡礼地に赴きます。アタコラはこの国の北西部にある巨大な山塊を指すためにベナンで使用されている名称です。この名前はまた、トーゴにもあり、“トーゴ山塊”との名称で知られ、ガーナでは“アクワビム・ヒルズ”と呼ばれています。アタコラの聖母マリア巡礼所は、2017年以来マリア会が活動を行ってきたナティティンガーの司教区に属しています。そこには7名のメンバーで構成されたマリアニスト共同体があり、この教区にある男女共学の学校の運営任務についています。この共同体は“福者Sabino Ayastuy”共同体と呼ばれています。

2000年1月22日に開設された「一致と良き勧めの母であるアタコラの聖母巡礼地」は、ベナン全土から巡礼者たちが集って聖母マリアに敬意を表し、あらゆる助けを懇願する場所となっています。またトーゴやブルキナファソのような隣国から来る巡礼者もいます。これらの巡礼者たちは皆、キリスト教徒であれ、イスラム教徒であれ、あるいは異教徒であっても、多くの巡礼者が“諸家族の王妃”と呼んできた聖母マリアの傍で、自分たちの家にいるように感じるのです。私たちは今年、トーゴとベナンのマリアニストと家族と共に集まって、全マリアニスト家族の意向、およびその地の教会と全世界の教会のため祈りたいと思います。特に、私たちはこの時にダイヤモンド記念の祝いを終えるトーゴ地区と力を合わせます。



## 2019年11月3日、マリア会が教育に携ってから200年の記念祭



総本部教育局長からの公示の通り、私たちは2019年11月3日にマリア会が教育に携ってから200年の記念祭を行います。各行政単位は、それぞれの必要に応じて、この日程を調整することができます。総本部Website：<https://www.marianist.org/php?id=656> は、各行政単位がこの記念祭についてのお知らせのための視覚媒体として使用できる3つの図式を提案しています。SM 3 部門 #151 のカバーとして使われている画像に加えて、各行政単位は上の画像のポスターも他のものと共に使用できます。上の画像は、1819年ボルドーで最初の学校が始まった後、マリアニスト教育が5大陸に広がった現状を描写しています。

皆さんの記念祭が終了したとき、この行事を記念するために皆さんがそれぞれの地域で行った諸活動についての報告を頂ければうれしく思います。皆さんの報告とコメントを次のサイトに送付ください：[port2@smcuria.it](mailto:port2@smcuria.it)。

---

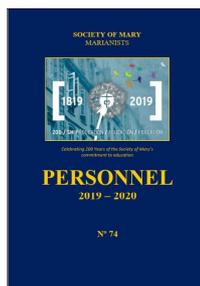
## アリアンス・マリアルが教区立の在俗修道会として認められる

皆さんと良いニュースを分かち合いたいと思います。(法王庁の) 奉献・使徒的生活会省と、関係する司教たちから前向きな見解を受け取った後、Jean-Pierre Richard、ボルドー大司教は、8月15日、アリアンス・マリアルを司教区立の在俗修道会として制定し、その地位を認定しました。

これはアリアンス・マリアルにとって大変嬉しいニュースであり、約60年に渡るその存在の成果として、公認を得ているのです。一人ひとりの会員は今、教会内での彼らの召命と宣教活動において大いに力づけられています。

この公認はまたマリアニスト家族全体にとっても大変嬉しいニュースです。この公認は、真のキリスト教的、宣教的生活を完成させる本物の手段としてのマリアニスト・カリスマを強化するものです。現在、アリアンスは13カ国に存在します：フランス、ベルギー、スイス、チリ、エクアドル、ペルー、アルゼンチン、トーゴ、コートジボワール、キンシャサ・コンゴ、ブラザビル・コンゴ、カナダ、そして日本です。私たちはアリアンス・マリアル姉妹たちとChristiane Barbaux会長(フランス)にお祝いの言葉を送ります。私たちは神への深い感謝をシスター方と共に捧げます。

## 2019 – 2010年、新国際名簿



ローマ・マリア会総本部の国際名簿2019–2020年版が最近発送されました。いつものように、コピー部数が行政単位の本部に直送され、行政単位内に配布されることになります。

正確でタイムリーな情報を提供して下さった全マリアニスト行政単位に感謝します。

### 最近の総本部通信

- 訃報：21号～32号
- 7月16日：マリア会が教育に携ってから200年記念祭：マリア会教育局長Max Magnan士から全行政単位の教育補佐と全共同体と事業所の責任者宛てに3か国語で送付
- 9月5日：SM 3部門# 151 (教育に携って200年)：マリア会教育局長Max Magnan士から全マリア会メンバーとマリア会の全事業所の責任者宛てに3か国語で送付
- 9月9日：世界マリアニスト祈りの日－2019年10月13日：マリアニスト家族世界評議会から全マリアニスト家族に3か国語で送付
- 9月12日：総指導者会議 (GLA) への招集書簡：マリア会André Fétis総長から行政単位責任者とゾーン議長宛てに3か国語で送付
- 9月12日：2020年マリアニスト連帯基金 (MSF) とマリアニスト養成資金 (MFF)：マリア会財務局長Michael McAward士から全行政単位財務補佐と責任者宛てに3か国語で送付
- 9月19日：修道会基本財産の調査と財務補佐会議 (行政単位の調査を完成させるための指導手引き書で)：マリア会財務局長Michael McAward士から全行政単位の財務補佐と責任者宛てに3か国語で送付

### 本部日程

- 9月22日～10月19日：総長評議員会全員でインド従属地区 (アメリカ管区) を訪問